

令和 6 年度 福島県内民生委員・児童委員、主任児童委員を対象とした実態調査 報告書 【概要版】

調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、県内の民生委員・児童委員、主任児童委員の活動実態や課題意識を把握することにより、民生委員・児童委員、主任児童委員のなり手の確保及び活動環境の改善に向けた取り組みを進めることを目的として実施する。

(2) 調査内容

調査対象： 令和 6 年 9 月 1 日時点における福島県内の民生委員・児童委員、主任児童委員

調査期間： 令和 6 年 9 月 1 日～令和 6 年 10 月 31 日

調査基準日：令和 6 年 9 月 1 日

調査方法： 調査票は市町村民生児童委員協議会を通じて調査対象者へ配布し、回答のあった調査票を市町村民生児童委員協議会が回収したのち福島県民生児童委員協議会へ送付

(3) 調査対象数・回答数

調査対象数：4,710 人（令和 6 年 9 月 1 日時点における民生委員・児童委員、主任児童委員数）

回答数： 3,993 人（回収率：84.8%）

有効回答数：3,993 人（有効回答率：84.8%）

(4) 調査実施主体

福島県民生児童委員協議会 福島県社会福祉協議会

調査結果の概要

(1) 回答者の属性

①民生委員・児童委員としての役割

区域担当委員(主任児童委員ではない)が、79.7%、主任児童委員が、8.6%であった。

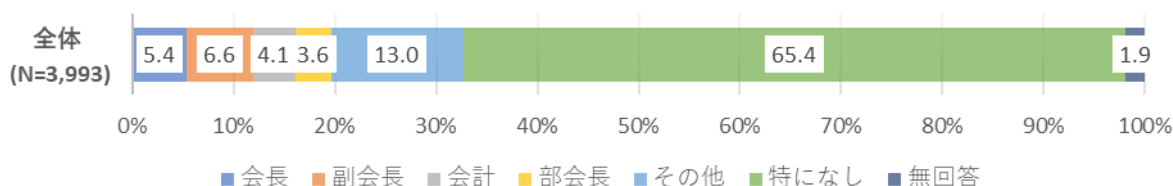
②所属している民児協の市町村

市部が 69.3%、町村部が 30.7%であった。

③単位民児協での役割

全体の 32.7%が、単位民児協での役割を持っていた。

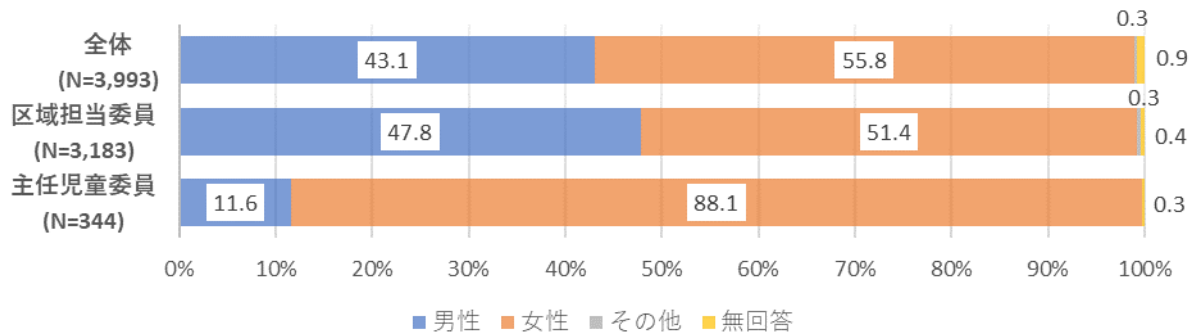
図表 1 単位民児協での役割



④性別

区域担当委員は、男性と女性の割合がほぼ半数ずつであった一方、主任児童委員は、女性が9割弱を占めた。

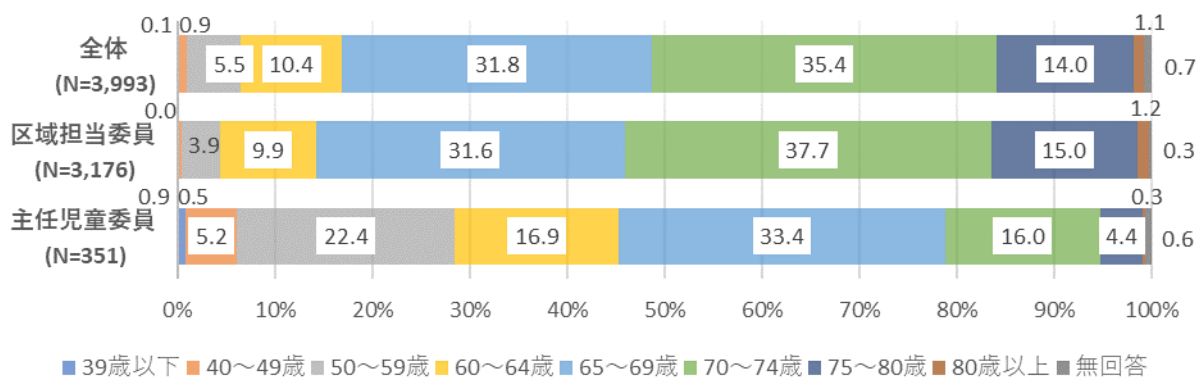
図表2 委員の性別



⑤年齢

区域担当委員は、「70～74歳」が最も高い割合(37.7%)であった。主任児童委員は、「65～69歳」が最も高い割合(33.4%)であった。区域担当委員では、70歳以上が53.8%を占めるが、主任児童委員では20.6%であった。

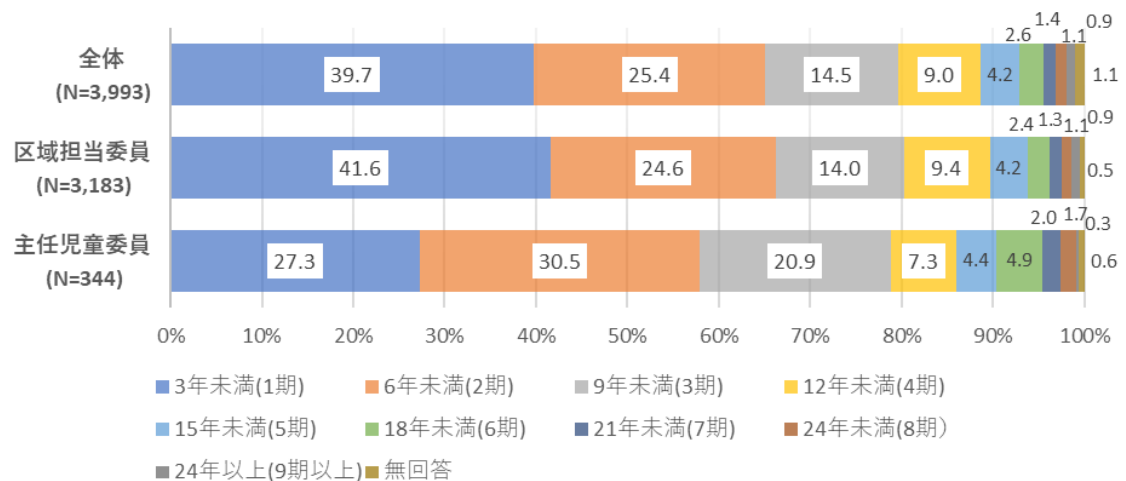
図表3 委員の年齢



⑥経験年数

区域担当委員、主任児童委員ともに3期以下(9年未満)の委員が、8割程度を占めた。

図表4 委員の経験年数

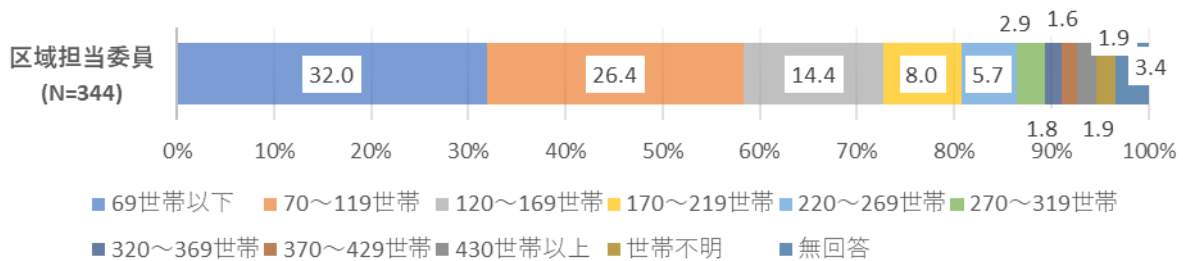


(2) 担当世帯数について

①区域担当委員の担当する区域の世帯数

区域担当委員の担当する区域の世帯数は、「69 世帯以下」(32.0%)、「70～119 世帯」(26.4%)を含めると、6 割弱(58.4%)を占めた。

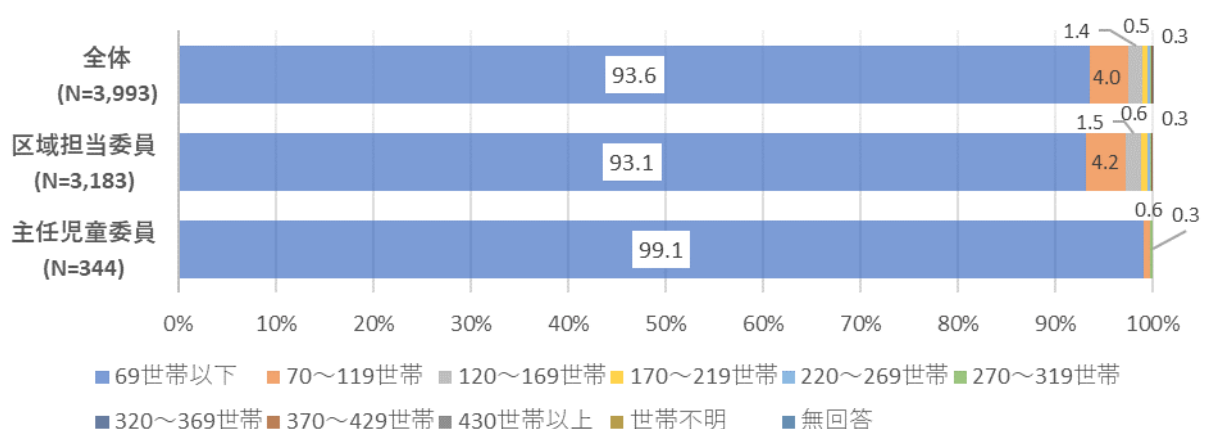
図表 5 担当する区域の世帯数



②現在、訪問・支援等で関わりがある世帯数

区域担当委員、主任児童委員ともに、「69 世帯以下」が 9 割超を占めた。

図表 6 訪問・支援等で関わりがある世帯数



③欠員等の影響による、本来の区域・役割以外での担当状況

「担当していない・担当したことがない」が、区域担当委員では 76.9%、主任児童委員では 78.2%と高い割合を占めている。「担当している・今は担当していないが過去にはある」委員は、区域担当委員、主任児童委員ともに 1 割未満であった。

④本来の区域以外で担当している合計世帯数【無回答を除く】

区域担当委員は「69 世帯以下」は 56.8%で最も多く、次いで「70～119 世帯」は 15.8%が続いた。

⑤本来の区域以外で、訪問・支援等関わりがある世帯数

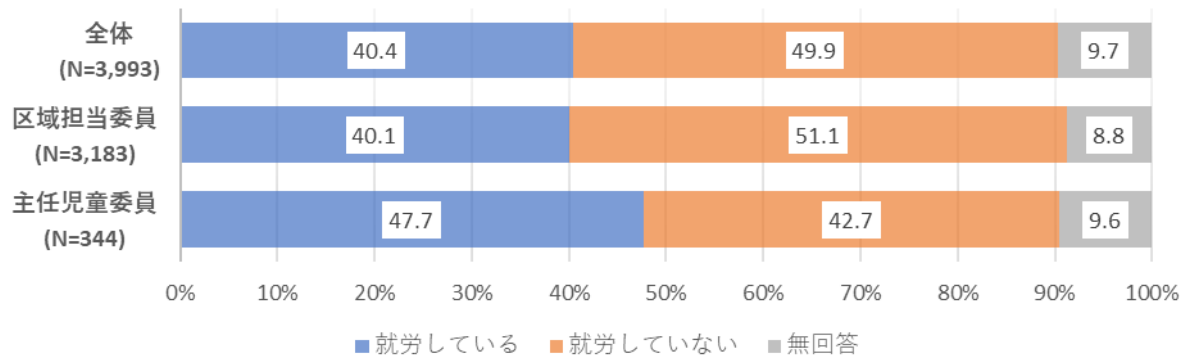
区域担当委員は「69 世帯以下」は 99.5%で最も多かった。

(3) 就労状況について

①現在の就労状況

「就労していない」割合が、区域担当委員で 51.1%、主任児童委員で 42.7%であった。

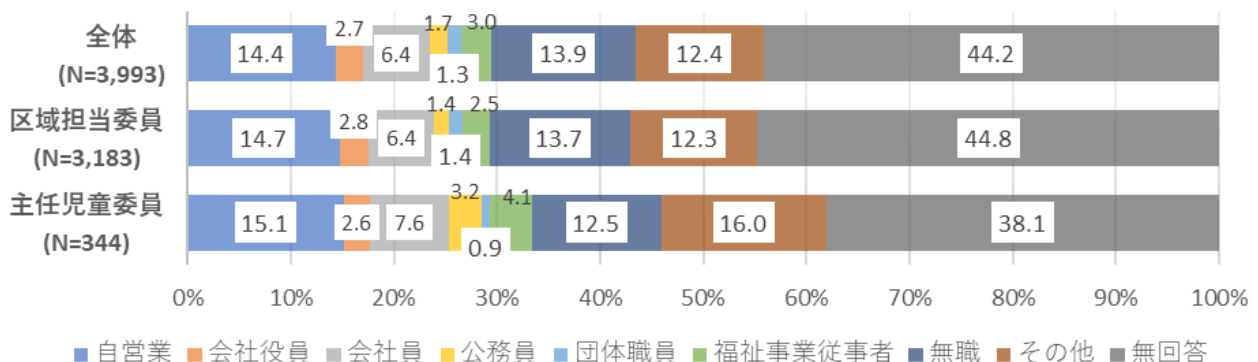
図表 7 現在の就労状況



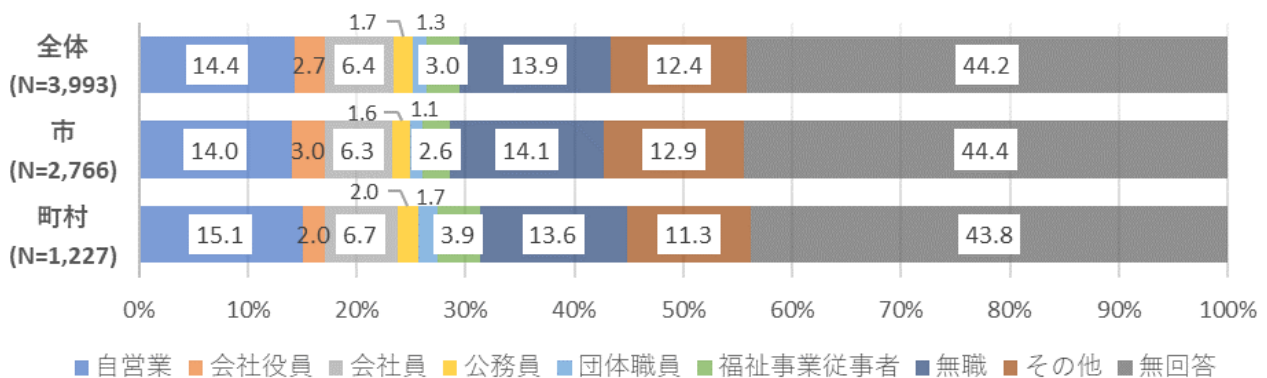
②現在の主な職業

区域担当委員は、「自営業」が 14.7%で最も多く、主任児童委員は「その他」が 16.0%で最も多い(「無回答」を除く)。市/町村別では、「自営業」が多く、また、市と町村の割合に大きな差異はなかった。

図表 8 現在の主な職業



図表 9 現在の主な職業(市/町村別)



③初めて委員に就任した当時の就労状況

区域担当委員、主任児童委員ともに、半数程度が「就労していなかった」であった。「就労していた」は、区域担当委員で 7.9%、主任児童委員で 6.7%であった。

④これまでに就労した主な産業

区域担当委員では「製造業」(14.4%)、主任児童委員では「公務」(16.2%)が最も高かった。

図表 10 これまでに就労した主な産業 一覧

	全体 (N=5,854)	区域担当委員 (N=4,705)	主任児童委員 (N=530)
農林水産業	8.8%	9.5%	4.3%
建設業、鉱業	6.1%	6.6%	4.0%
製造業	14.4%	15.4%	8.3%
熱供給業、水道業	0.8%	0.8%	1.1%
情報通信業、運送業	4.0%	4.3%	1.9%
卸売・小売業	10.3%	10.5%	9.2%
金融・保険業	5.9%	6.1%	6.2%
不動産・賃貸業	2.0%	1.9%	2.1%
教育系サービス業	4.8%	4.1%	10.9%
宿泊・飲食・娯楽系サービス業	5.7%	5.3%	8.1%
保健医療	4.9%	4.5%	5.3%
福祉・介護	8.0%	7.3%	8.9%
宗教	0.9%	0.7%	1.3%
公務	12.8%	12.5%	16.2%
なし（専業主婦・夫含む）	2.9%	2.8%	3.2%
その他	7.7%	7.7%	8.9%

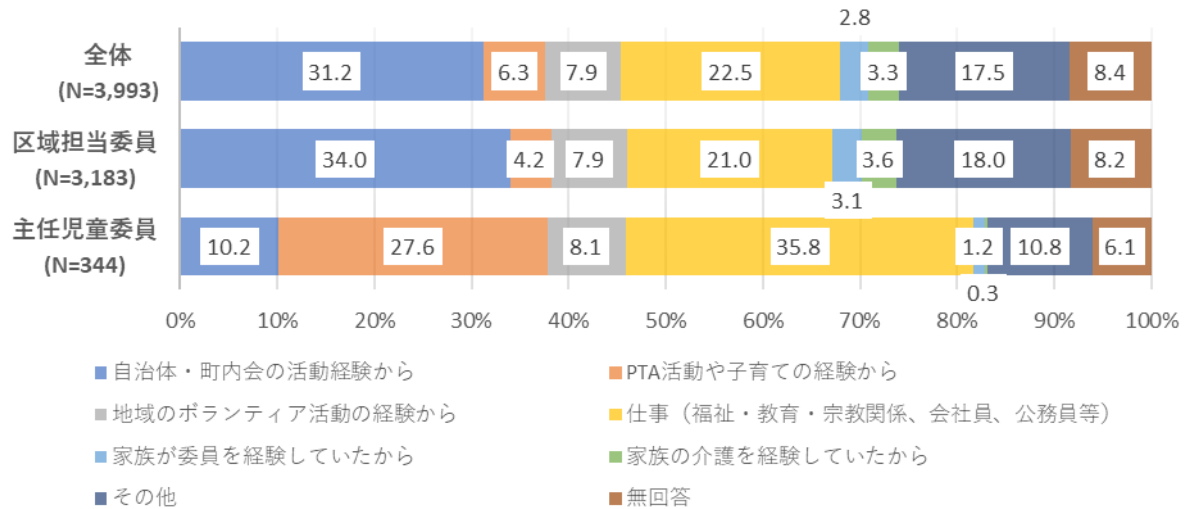
※ ■ : 上位 1 項目、■ : 上位 3 項目

(4) 委員に推薦された理由について

①初めて委員に推薦された際の主な理由として考えられること

区域担当委員では「自治体・町内会の活動経験から」の 34.0%、次いで「仕事（福祉・教育・宗教関係、会社員、公務員等）」が 21.0%と高かった。主任児童委員では「仕事（福祉・教育・宗教関係、会社員、公務員等）」の 35.8%、次いで「PTA 活動や子育ての経験から」の 27.6%が高かった。

図表 11 委員に推薦された理由



(5) 民生委員・児童委員の意識について

①委員活動に対する気持ち

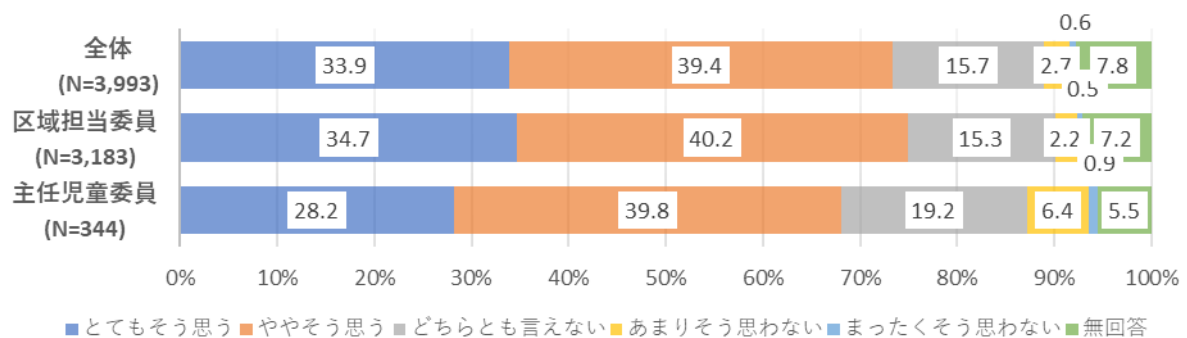
「そう思う」： 「とてもそう思う」「ややそう思う」を合わせた割合
「そう思わない」： 「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合わせた割合

a. 有意義な活動である

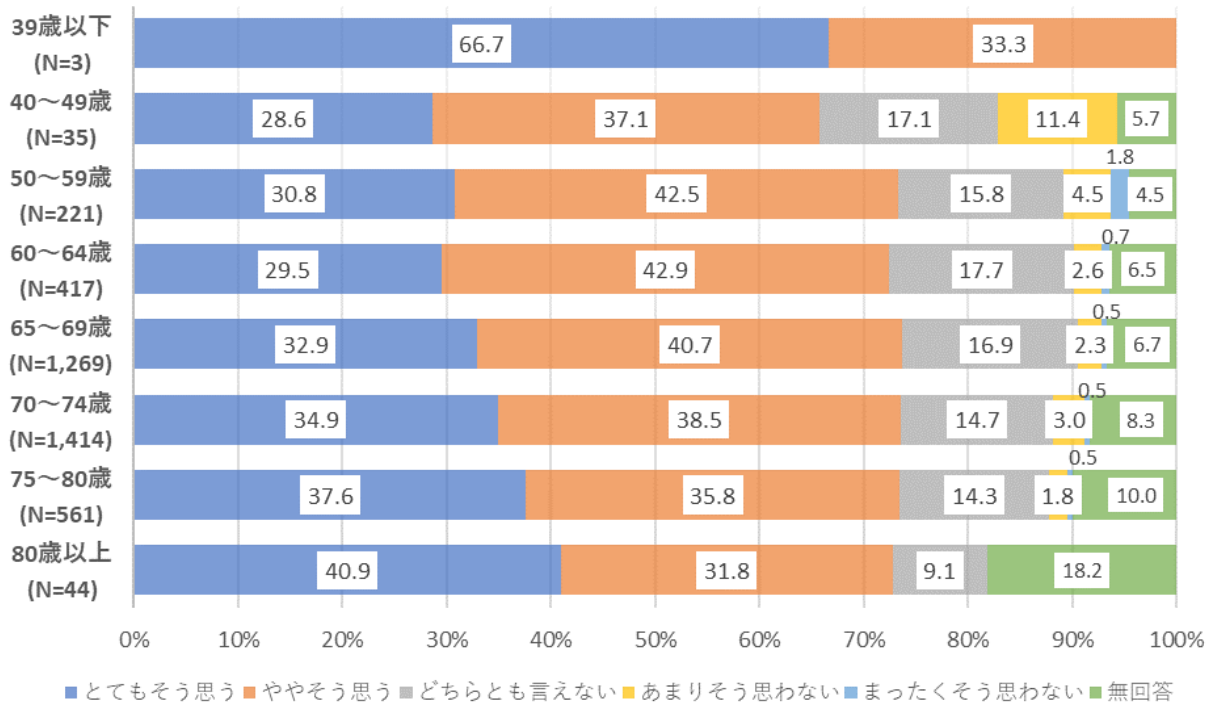
区域担当委員では、「そう思う」が74.9%、「そう思わない」が2.7%であった。また、主任児童委員では、「そう思う」が68.0%、「そう思わない」が7.3%であった。

年齢別にみると、39歳以下の値が突出して「そう思う」が大きくなっているが、50代以降の各世代において7割超が「そう思う」であり、さらに傾向としては、年齢が高いほど「とてもそう思う」割合が高くなる傾向がみられた。

図表 12 有意義な活動である



図表 13 有意義な活動である(年齢別)

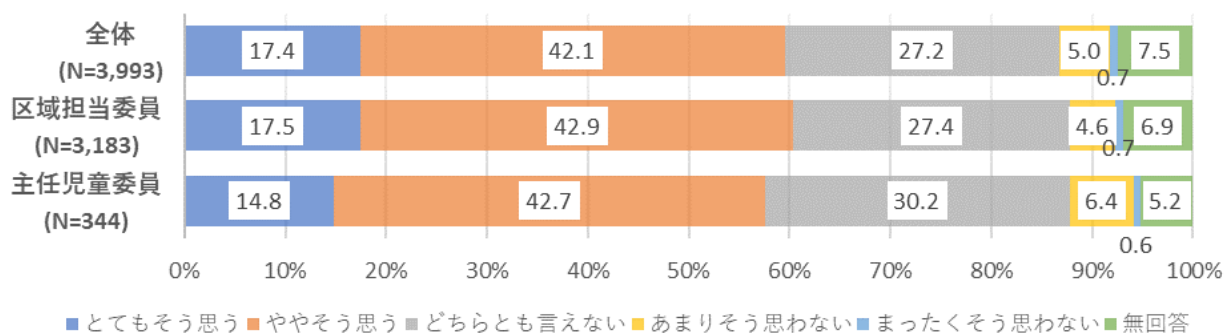


b. やりがいを感じる

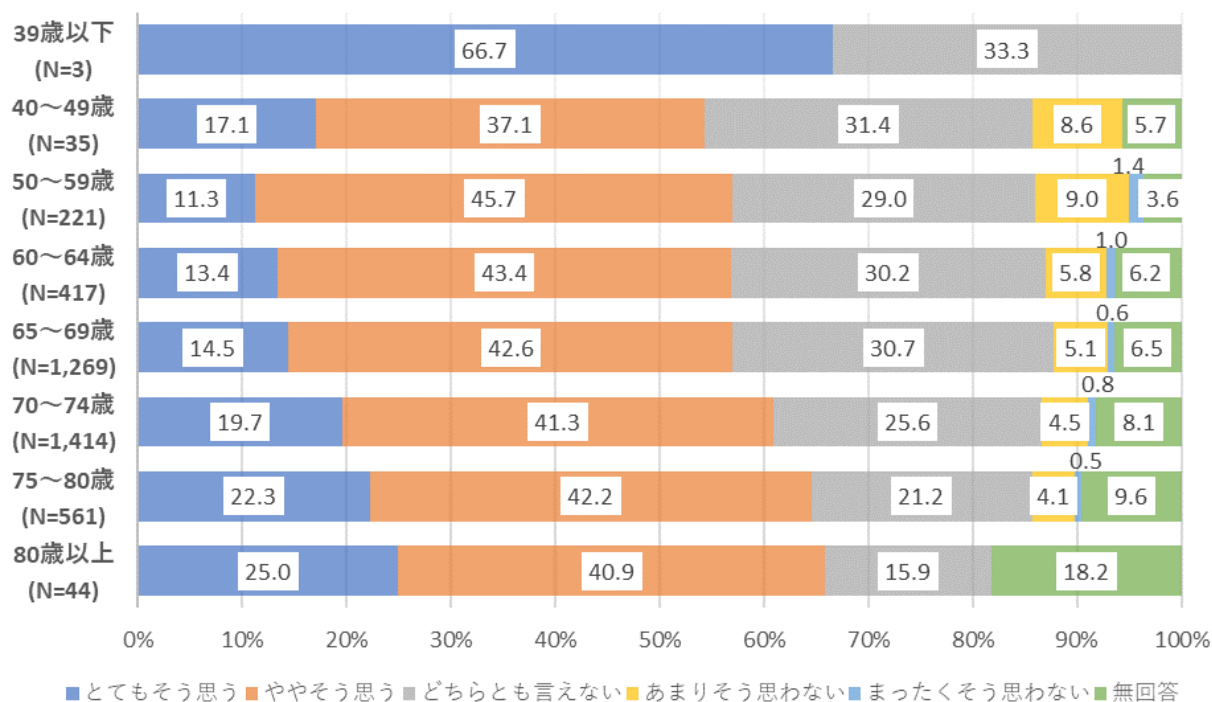
「そう思う」が、6割程度(区域担当委員では60.4%、主任児童委員が57.6%)であった一方、「そう思わない」は、1割弱(区域担当委員では5.3%、主任児童委員が7.0%)であった。

年齢別にみると、各世代において半数以上が「そう思う」であり、さらに傾向としては、年齢が高いほど「とてもそう思う」割合が高くなる傾向がみられた。

図表 14 やりがいを感じる



図表 15 やりがいを感じる(年齢別)

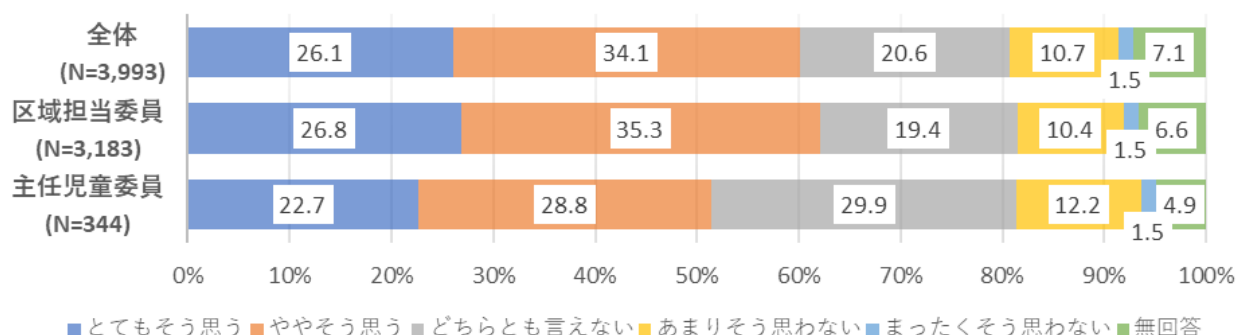


c. 就任前のイメージより大変だった

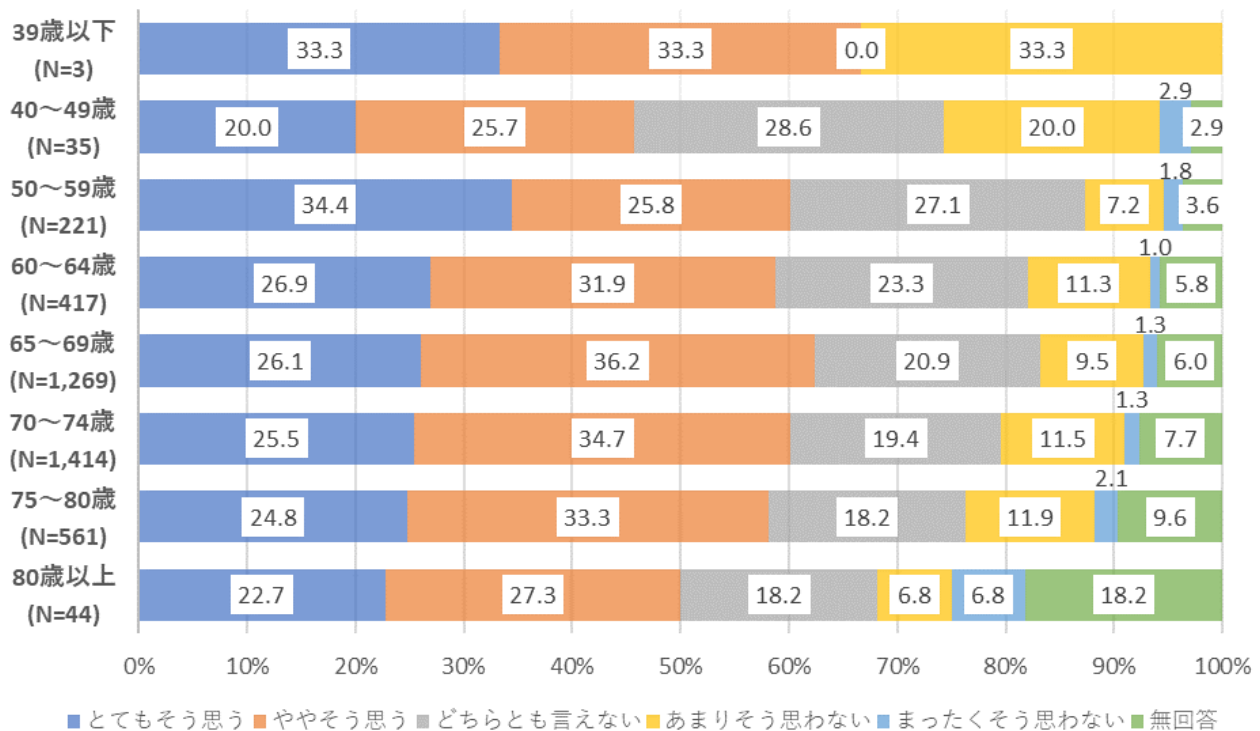
区域担当委員では、「そう思う」が62.1%、「そう思わない」が12.0%であった。また、主任児童委員では、「そう思う」が51.5%、「そう思わない」が13.7%であった。

年齢別にみると、「そう思う」が40～49歳で45.7%、80歳以上で50.0%と低い、それ以外の世代では「そう思う」が6割程度であった。「そう思わない」が、30～39歳で33.3%、40～49歳で22.9%となっており、年齢が低い方が「そう思わない」という傾向がみられた。

図表 16 就任前のイメージより大変だった



図表 17 就任前のイメージより大変だった(年齢別)

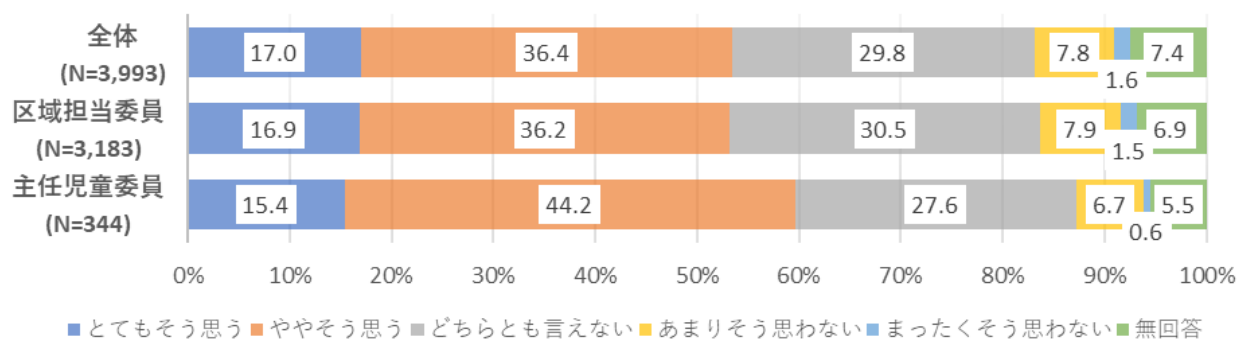


d. 委員になってよかったと思う

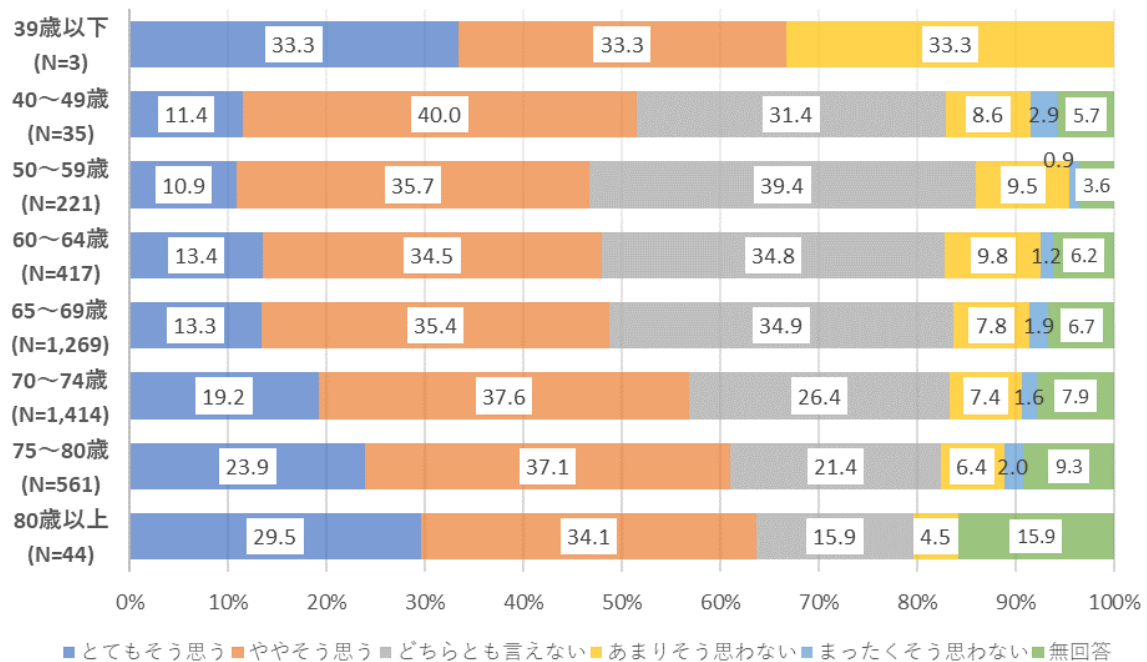
区域担当委員では、「そう思う」が 53.2%、「そう思わない」が 9.4%であった。また、主任児童委員では、「そう思う」が 59.6%、「そう思わない」が 7.3%であった。

年齢別にみると、「そう思う」が 50～59 歳で最も低く(46.6%)、そこから年齢が高くなるにつれて、割合が高くなる傾向(80 歳以上では 63.6%)がみられた。

図表 18 委員になってよかったと思う



図表 19 委員になってよかったと思う(年齢別)



②委員活動で特に大きな負担に感じている項目

区域担当委員、主任児童委員ともに、「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」が、約1割で、最も割合が高かった。次いで「地域の実情をどこまで把握すれば良いのか分からない」「福祉に関する知識や情報が乏しい」も高い割合であった。

区域担当委員と主任児童委員を比較すると、区域担当委員では「地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい」(7.1%)の割合が高かった。主任児童委員では「会議や研修などへの参加依頼が多い」(7.9%)、「活動の範囲や役割が明確化されていない」(7.9%)「行政・関係機関等から支援に必要な個人情報提供されない」(7.8%)の割合が高かった。

市と町村を比較すると、大きな傾向は変わらないが、町村では特に「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」(10.8%)の割合が高かった。

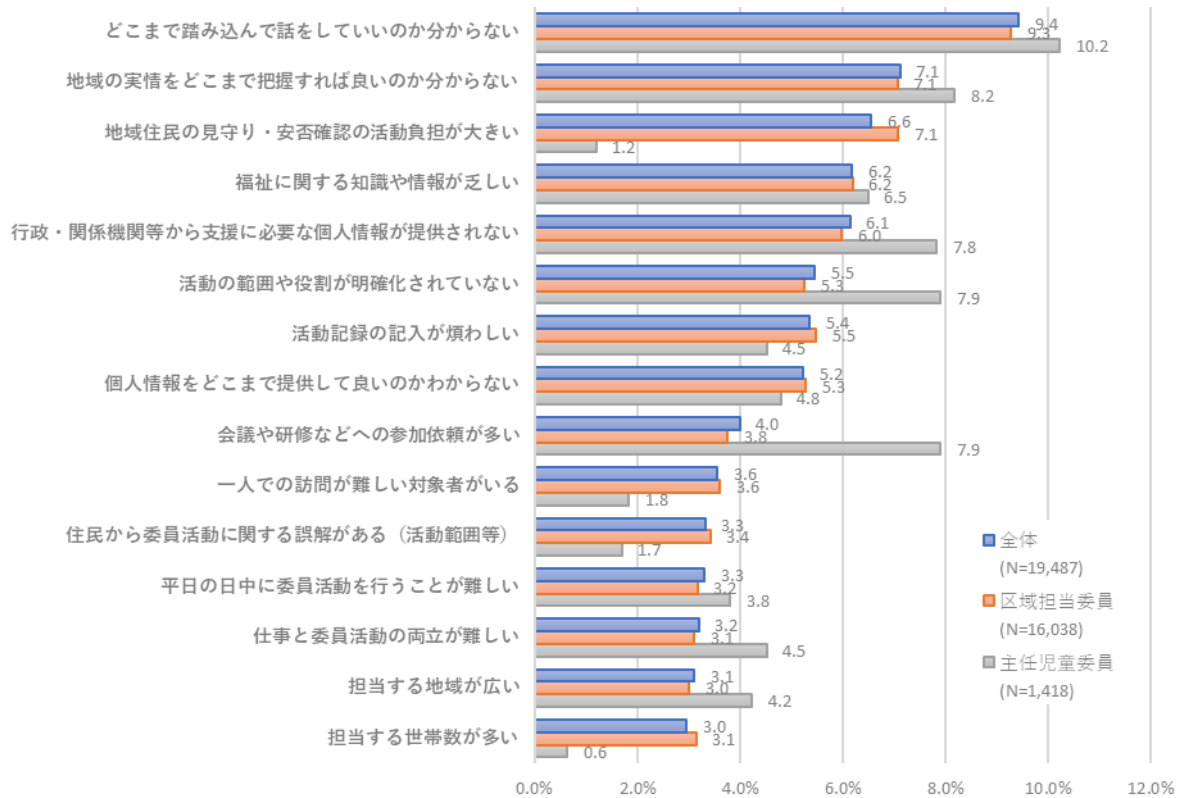
経験年齢別でみると、4期までは「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」が高く(1期の13.0%が最も高い)、5期以降は「行政・関係機関等から支援に必要な個人情報提供されない」が高い(8期の16.7%が最も高い)。9期以上では「活動記録の記入が煩わしい」(16.7%)が高い。

図表 20 委員活動で特に大きな負担に感じていること 一覧

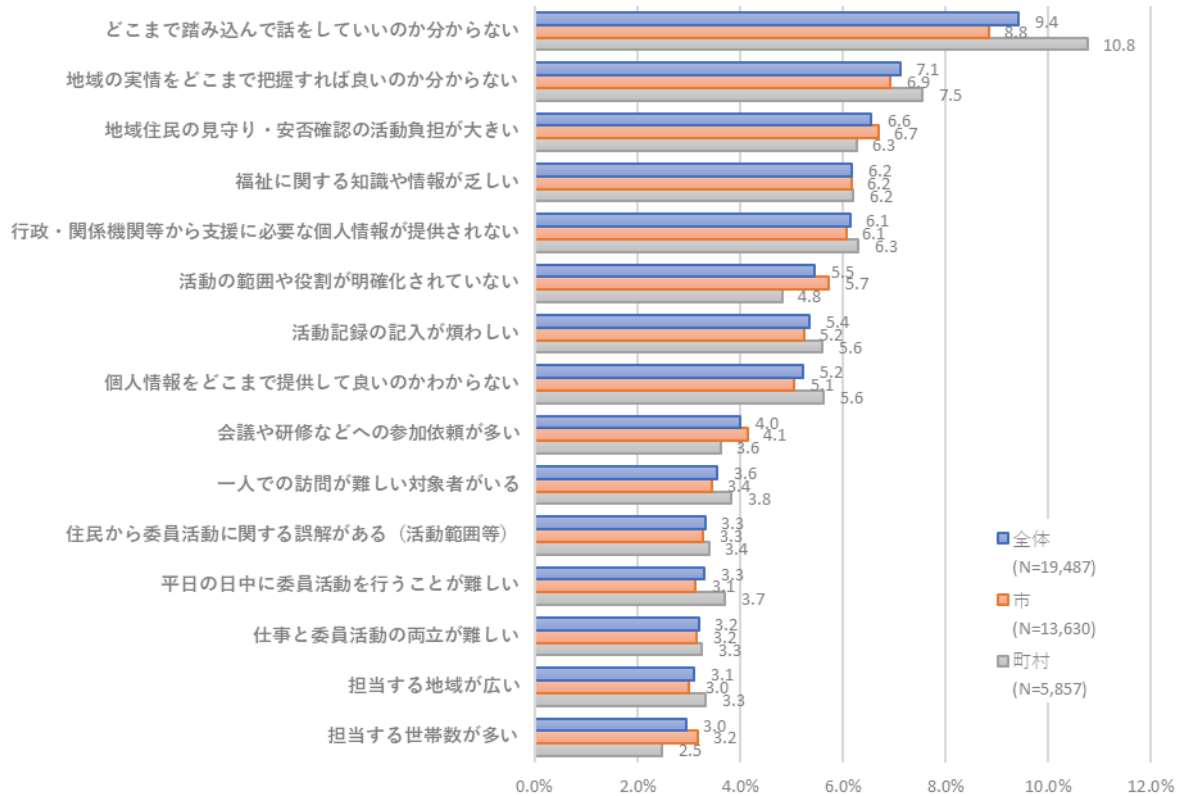
項目	全体 (N=19,487)	区域担当委員 (N=16,038)	主任児童委員 (N=1,418)	市 (N=13,630)	町村 (N=5,857)
地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい	6.6%	7.1%	1.2%	6.7%	6.3%
課題を抱えた住民が多い	2.7%	2.8%	1.8%	2.6%	3.0%
担当する世帯数が多い	3.0%	3.1%	0.6%	3.2%	2.5%
担当する地域が広い	3.1%	3.0%	4.2%	3.0%	3.3%
一人での訪問が難しい対象者がいる	3.6%	3.6%	1.8%	3.4%	3.8%
民児協からの協力依頼事項が多い	1.1%	1.2%	0.6%	1.1%	1.0%
行政からの協力依頼事項が多い	1.9%	1.9%	1.3%	1.8%	2.0%
社協からの協力依頼事項が多い	2.4%	2.5%	1.4%	2.6%	2.0%
関係団体からの協力依頼事項が多い	1.7%	1.7%	2.8%	1.9%	1.2%
会議や研修などへの参加依頼が多い	4.0%	3.8%	7.9%	4.1%	3.6%
物品等の配布協力の負担が大きい	1.1%	1.2%	0.1%	1.3%	0.6%
住民からの募金・会費集めの負担が大きい	1.5%	1.6%	0.3%	1.6%	1.5%
活動記録の記入が煩わしい	5.4%	5.5%	4.5%	5.2%	5.6%
活動の範囲や役割が明確化されていない	5.5%	5.3%	7.9%	5.7%	4.8%
どこまで踏み込んで話をしているのか分からない	9.4%	9.3%	10.2%	8.8%	10.8%
地域の実情をどこまで把握すれば良いのか分からない	7.1%	7.1%	8.2%	6.9%	7.5%
地域住民との信頼関係の作り方が分からない	1.4%	1.2%	2.3%	1.3%	1.5%
行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない	6.1%	6.0%	7.8%	6.1%	6.3%
個人情報をどこまで提供して良いのかわからない	5.2%	5.3%	4.8%	5.1%	5.6%
福祉に関する知識や情報が乏しい	6.2%	6.2%	6.5%	6.2%	6.2%
援助が困難な場合の「つなぎ先」がよくわからない	2.8%	2.8%	3.2%	3.0%	2.4%
関係機関にうまく対応してもらえない	0.9%	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%
民児協事務局のバックアップ機能が弱い	1.2%	1.2%	0.7%	1.3%	1.1%
委員活動・民児協活動のデジタル化が進まない	2.1%	2.1%	2.4%	2.2%	1.9%
民児協内での人間関係が難しい	1.0%	0.9%	1.4%	1.0%	0.8%
住民から委員活動に関する誤解がある（活動範囲等）	3.3%	3.4%	1.7%	3.3%	3.4%
仕事と委員活動の両立が難しい	3.2%	3.1%	4.5%	3.2%	3.3%
家庭と委員活動の両立が難しい	1.8%	1.8%	2.6%	1.8%	1.8%
平日の日中に委員活動を行うことが難しい	3.3%	3.2%	3.8%	3.1%	3.7%
委員活動にかかる経済的負担が大きい	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%
その他	1.1%	1.1%	1.9%	1.1%	1.1%

※ ■：上位1項目、■：上位3項目

図表 21 委員活動で特に大きな負担に感じていること（全体上位 15 項目）



図表 22 委員活動で特に大きな負担に感じていること（市/町村別）（全体上位 15 項目）



図表 23 委員活動で特に大きな負担に感じていること（経験年齢別）

項目	1 期 (N=2,946)	2 期 (N=1,943)	3 期 (N=1,014)	4 期 (N=620)	5 期 (N=278)	6 期 (N=160)	7 期 (N=96)	8 期 (N=66)	9 期以上 (N=36)
地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい	6.2%	6.7%	7.2%	7.7%	9.0%	5.6%	8.3%	3.0%	11.1%
課題を抱えた住民が多い	2.0%	2.3%	3.2%	3.5%	2.9%	3.1%	8.3%	6.1%	5.6%
担当する世帯数が多い	3.9%	3.6%	3.9%	2.9%	4.3%	2.5%	4.2%	6.1%	0.0%
担当する地域が広い	3.7%	3.3%	3.0%	3.1%	3.6%	2.5%	2.1%	4.5%	0.0%
一人での訪問が難しい対象者がいる	3.2%	3.9%	3.6%	3.7%	3.6%	1.3%	2.1%	0.0%	2.8%
民児協からの協力依頼事項が多い	0.4%	0.1%	0.5%	0.3%	0.7%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%
行政からの協力依頼事項が多い	0.7%	1.2%	1.6%	2.1%	2.9%	2.5%	3.1%	6.1%	2.8%
社協からの協力依頼事項が多い	1.4%	1.4%	1.7%	3.2%	3.6%	4.4%	3.1%	4.5%	5.6%
関係団体からの協力依頼事項が多い	1.2%	1.5%	1.5%	1.9%	1.4%	3.8%	2.1%	9.1%	5.6%
会議や研修などへの参加依頼が多い	3.8%	3.9%	4.2%	5.0%	4.3%	8.8%	6.3%	10.6%	8.3%
物品等の配布協力の負担が大きい	1.1%	0.7%	1.4%	1.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
住民からの募金・会費集めの負担が大きい	1.7%	2.4%	1.8%	2.6%	1.8%	2.5%	1.0%	4.5%	2.8%
活動記録の記入が煩わしい	5.8%	5.5%	5.7%	6.1%	3.6%	4.4%	5.2%	3.0%	16.7%
活動の範囲や役割が明確化されていない	6.2%	5.6%	5.7%	5.8%	8.3%	3.1%	5.2%	4.5%	0.0%
どこまで踏み込んで話をしているのか分からない	13.0%	12.5%	9.9%	8.5%	7.9%	9.4%	5.2%	3.0%	5.6%
地域の実情をどこまで把握すれば良いのか分からない	8.0%	9.3%	7.1%	6.1%	4.7%	7.5%	6.3%	3.0%	0.0%
地域住民との信頼関係の作り方が分からない	1.2%	1.3%	0.7%	0.3%	0.4%	1.3%	1.0%	0.0%	0.0%
行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない	5.5%	6.3%	7.8%	8.4%	11.5%	9.4%	11.5%	16.7%	8.3%
個人情報をごくまで提供して良いのか分からない	4.0%	3.5%	4.5%	3.1%	5.0%	2.5%	2.1%	1.5%	8.3%
福祉に関する知識や情報が乏しい	5.2%	5.2%	4.0%	3.9%	4.7%	2.5%	5.2%	0.0%	0.0%
援助が困難な場合の「つなぎ先」がよくわからない	2.2%	1.9%	1.8%	1.0%	1.1%	0.6%	2.1%	1.5%	0.0%
関係機関にうまく対応してもらえない	0.5%	0.4%	0.7%	0.8%	0.4%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%
民児協事務局のバックアップ機能が弱い	0.3%	0.6%	0.4%	0.6%	0.4%	0.6%	1.0%	0.0%	0.0%
委員活動・民児協活動のデジタル化が進まない	1.6%	1.3%	2.2%	1.9%	1.1%	2.5%	3.1%	0.0%	2.8%
民児協内での人間関係が難しい	0.4%	0.8%	0.7%	0.6%	1.1%	1.9%	1.0%	0.0%	2.8%
住民から委員活動に関する誤解がある（活動範囲等）	2.0%	2.8%	3.0%	3.9%	1.8%	4.4%	2.1%	6.1%	0.0%
仕事と委員活動の両立が難しい	5.8%	4.5%	4.7%	3.5%	3.2%	2.5%	3.1%	6.1%	2.8%
家庭と委員活動の両立が難しい	2.0%	2.0%	2.0%	1.8%	0.7%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
平日の日中に委員活動を行うことが難しい	5.4%	3.6%	3.6%	3.7%	3.2%	3.8%	2.1%	0.0%	0.0%
委員活動にかかる経済的負担が大きい	0.2%	0.5%	0.6%	0.3%	0.4%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1.2%	1.5%	1.6%	2.4%	2.2%	1.3%	1.0%	0.0%	8.3%

※ ■：上位 1 項目、■：上位 3 項目

③持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと

区域担当委員、主任児童委員ともに、「委員活動の範囲や役割の明確化」が最も高く、また「委員活動に必要な個人情報の提供」「委員及び委員活動に対する認知度の向上」も高かった。

区域担当委員と主任児童委員を比較すると、「委員及び委員活動に対する認知度の向上」は、主任児童委員では 15.3%と、区域担当委員の 10.1%と比べ、より高い割合であった。

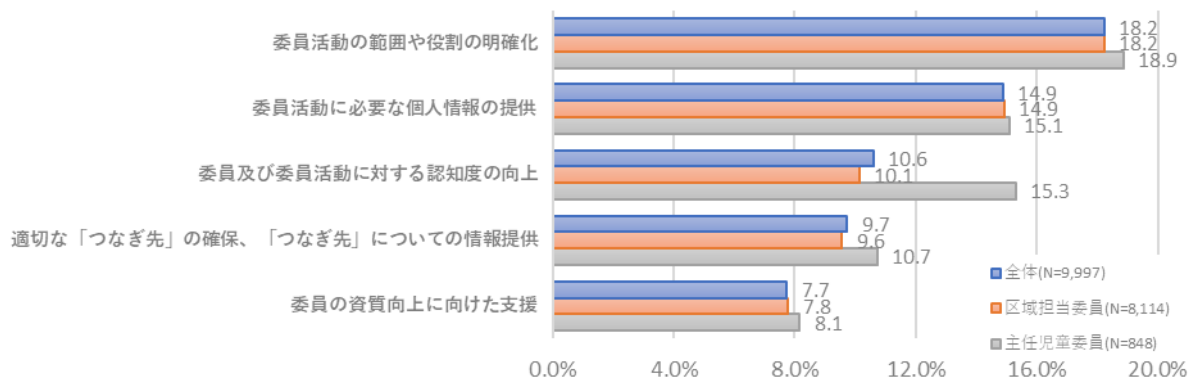
経験年数別でみると、経験年数が短い 1 期から 3 期では「委員活動の範囲や役割の明確化」（1 期の 20.6%が最も高い）、経験年数が長い（4 期以降）と「委員活動に必要な個人情報の提供」（8 期の 25.9%が最も高い）が、それぞれ高かった。

図表 24 持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと 一覧

項目	全体 (N=9,997)	区域担当委員 (N=8,114)	主任児童委員 (N=848)	市 (N=7,042)	町村 (N=2,955)
委員活動に係る時間・労力の軽減	7.3%	7.5%	5.8%	7.3%	7.5%
委員活動の範囲や役割の明確化	18.2%	18.2%	18.9%	18.3%	18.1%
委員の資質向上に向けた支援	7.7%	7.8%	8.1%	7.7%	7.9%
委員活動に必要な個人情報の提供	14.9%	14.9%	15.1%	14.5%	15.7%
適切な「つなぎ先」の確保、「つなぎ先」についての情報提供	9.7%	9.6%	10.7%	9.8%	9.5%
休日・夜間の委員活動を支援する体制の整備	4.1%	4.2%	1.9%	4.2%	3.9%
委員活動のバックアップ体制の見直し、強化	4.7%	4.9%	2.7%	4.8%	4.4%
委員同士の連携・交流の促進	6.7%	6.7%	6.5%	6.4%	7.2%
委員活動・民児協活動の ICT 化・デジタル化の推進	5.4%	5.4%	5.7%	5.6%	4.9%
委員及び委員活動に対する認知度の向上	10.6%	10.1%	15.3%	10.8%	10.2%
住民の委員活動に対する理解の向上	2.3%	2.1%	3.4%	2.1%	2.7%
委員活動に係る経済的負担の軽減	2.2%	2.2%	1.5%	2.2%	2.0%
委員協力員の設置促進	4.6%	4.9%	2.9%	4.5%	4.8%
その他	1.6%	1.7%	1.4%	1.8%	1.3%

※ 〇：上位 1 項目、●：上位 3 項目

図表 25 持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと（全体上位 5 項目）



図表 26 持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと（経験年数別）

項目	1 期 (N=3,720)	2 期 (N=2,577)	3 期 (N=1,495)	4 期 (N=986)	5 期 (N=475)	6 期 (N=301)	7 期 (N=165)	8 期 (N=112)	9 期以上 (N=64)
委員活動に係る時間・労力の軽減	8.5%	6.6%	7.4%	6.4%	4.8%	5.6%	9.7%	10.7%	3.1%
委員活動の範囲や役割の明確化	20.6%	18.5%	17.2%	14.6%	16.4%	14.3%	14.5%	8.9%	12.5%
委員の資質向上に向けた支援	7.3%	8.3%	7.7%	8.1%	8.0%	6.0%	8.5%	9.8%	7.8%
委員活動に必要な個人情報の提供	13.4%	14.2%	14.9%	17.0%	18.5%	18.9%	15.2%	25.9%	25.0%
適切な「つなぎ先」の確保、「つなぎ先」についての情報提供	10.3%	9.4%	9.2%	9.4%	9.3%	9.6%	10.9%	5.4%	6.3%
休日・夜間の委員活動を支援する体制の整備	3.9%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	5.0%	7.9%	7.1%	6.3%
委員活動のバックアップ体制の見直し、強化	4.7%	4.6%	4.2%	4.4%	5.3%	7.6%	6.1%	2.7%	4.7%
委員同士の連携・交流の促進	5.3%	8.0%	6.8%	7.8%	6.9%	6.6%	6.1%	5.4%	6.3%
委員活動・民児協活動の ICT 化・デジタル化の推進	5.7%	5.5%	5.2%	5.4%	4.2%	4.3%	4.8%	3.6%	6.3%
委員及び委員活動に対する認知度の向上	9.9%	10.8%	10.9%	11.7%	11.6%	9.6%	7.3%	13.4%	18.8%
住民の委員活動に対する理解の向上	2.4%	2.1%	1.9%	2.5%	2.3%	2.7%	2.4%	2.7%	1.6%
委員活動に係る経済的負担の軽減	2.0%	2.1%	2.4%	2.6%	1.9%	3.3%	2.4%	0.9%	0.0%
委員協力員の設置促進	4.1%	4.8%	5.6%	4.9%	5.1%	6.0%	1.8%	2.7%	1.6%
その他	1.9%	1.0%	2.5%	1.2%	1.7%	0.3%	2.4%	0.9%	0.0%

※ 〇：上位 1 項目、●：上位 3 項目

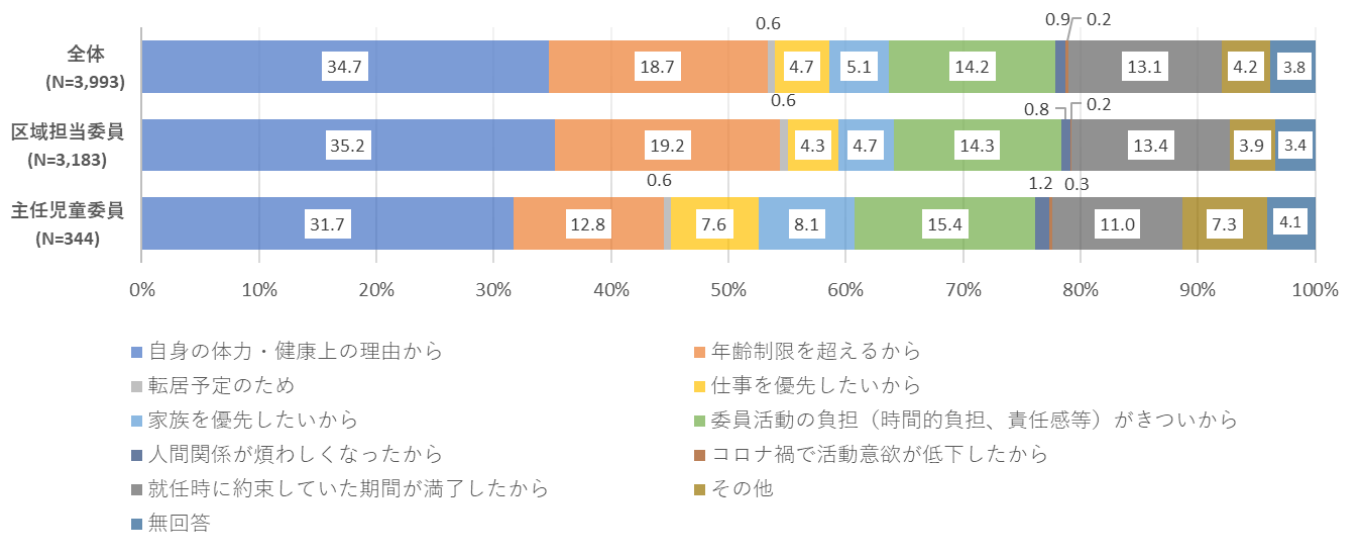
(6) 退任理由について

区域担当委員、主任児童委員ともに、「自身の体力・健康上の理由から」が3割台で最も高かった。

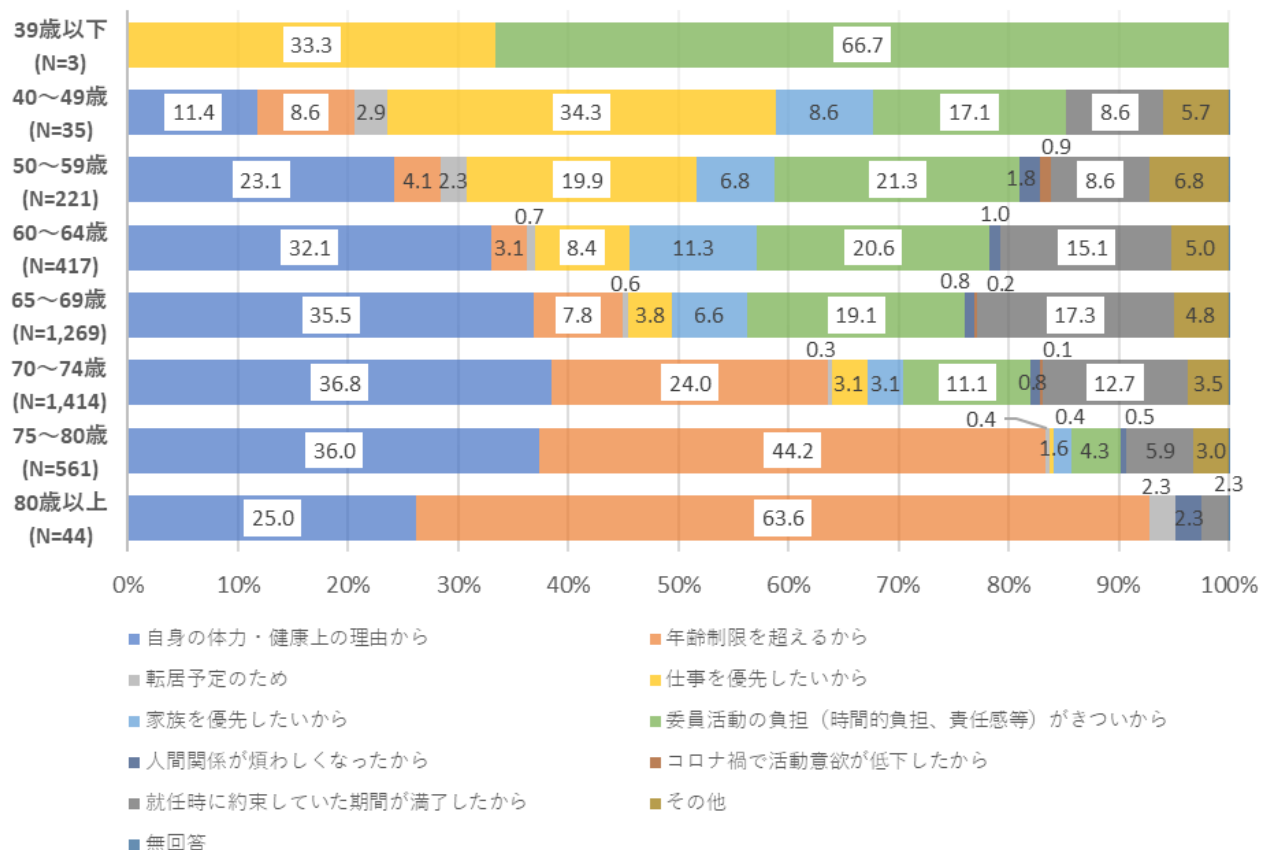
区域担当委員と主任児童委員を比較すると、区域担当委員は「年齢制限を超えるから」が高かった。主任児童委員は、「家族を優先したいから」「仕事を優先したいから」が高かった。

年齢別では、若い方が「仕事を優先したいから」「委員活動の負担（時間的負担、責任感等）がきついから」が高く、高齢になるに従い「自身の体力・健康上の理由から」「年齢制限を超えるから」が高くなる傾向があった。

図表 27 退任する主な理由



図表 28 退任する主な理由（年齢別）



(7) これから民生委員・児童委員、主任児童委員になる方に向けて一言（一部抜粋）

民生委員になって 10 年。初めは何もわからずとまどう事もありましたが、先輩の民生委員の方々に色々教えていただきながらここまでできました。おひとり暮らしの方の見守りのかねて訪問させていただいていますが「いつもありがとう」と言ってもらえることが多くなり自分にとっても嬉しいと思える活動です。

民生委員、児童委員として、地域の人達の身近な相談相手になれるような、又、安心して関わりがいただけることに、あまり負担を感じることなく、隣近所のようなお付き合い、話しが出来るような気持ちで活動することで良いと思います。

地域とのつながりが深まり、今まで知らなかった事を知る貴重な時間となっています。初めは不安でしたが、“無理はせず、できることから少しずつやればよい”と先輩の委員からアドバイスを受けて心が軽くなり、楽しく活動しています。

地域に住む人間だから分かること、できることがあります。みなさんの力を貸して下さい。住みよい地域、安心していられる地域を作っていきましょう。

地域の人々の温かさとよさを再発見し、かつ信頼できる多くの方々との出会いがありました。地道な活動ではありますが地域貢献していくことは意義あることだと思います。

地域間のつながりがうすれていく中、ご近所にお声かけし、交流がもてる機会が得られる時、やりがいや、嬉しさを感じます。

地域住民の見守り・安否確認活動については思いやりを持って相手の話に耳を傾け良く聴いてあげる。常に誠実に情熱を持って接することで信頼関係が生まれて活動が楽しくなってくると思います。

令和 6 年度福島県内民生委員・児童委員、主任児童委員を対象とした実態調査報告〔概要版〕

令和 7 年 3 月

発行 福島県民生児童委員協議会・福島県社会福祉協議会

〒960-8141 福島県福島市渡利字七社宮 111／TEL 024-522-6543

委託先 陽光社印刷株式会社

〒960-0112 福島県福島市南矢野目字萩ノ目裏 1-1／TEL 024-553-4600